

平成28年度 小千谷市理科部 活動報告

部長 永井 毅人

1 研究主題

小千谷市の教員は、小千谷市の学校教育におけるスローガン「心豊かにたくましく生きる小千谷の子ども」の具現を目指し、資質能力を高め合い、指導力の向上に努めている。

理科部では、「子どもが進んで学び、追究していくための授業改善」をテーマに研修に取り組んだ。

2 研究の概要

市の教育研究会として、市内小学校の全教員が国語・社会・算数・理科の4部会のいずれかに所属している。理科部会には21名が所属し、研修会を2回開催した。

3 研究の実際

(1) 第1回理科部会 4月20日(水)

- ◎ 本年度の研修についての計画・立案、及び、内容の共通理解

(2) 第2回理科部会 8月23日(火)

- ◎ 小千谷の地域巡検

- ① 小千谷信濃川水力発電館「おじゃ〜る」の見学

7月にオープンした当館を見学し、授業での活用の可能性を探った。

- ② 河岸段丘・信濃川の俯瞰観察

山本山展望台より、河岸段丘と信濃川の蛇行等の様子を観察。地学に詳しい部員が用意した断層地図と実景との照合観察は好評だった。

4 成果と課題

- 河岸段丘の観察は2年連続となった。しかし、日ごろ地域教材の教材研究が普段十分にできない状況の中、現地研修はとても有意義である。特に、地元の部員が断層地図を用意し、実景と地図を照合しながら説明してくれたことにより、部員全員から「段丘の成り立ちがよくわかる」と好評だった。また、「おじゃ〜る」では、社会科や総合的な学習での活用アイデアにも気付くことができた。理科をはじめ、地域に根差した学習を充実させるために、今後も現地研修を大切にしていきたい。
- 市中学校教育研究会の各教科部会も同日開催である。小・中学校合同で授業の情報交換や地域巡検を実施するなど、小・中学校が連携し、学びの接続を考える研修を具体的に検討していく。